

11月に入り、朝夕の冷え込みで、日中との寒暖差が大きくなりました。衣類の調節をこまめにし、体調の変化に十分気をつけていきましょう。子どもは新陳代謝が盛んなので、大人より1枚少なめでも大丈夫です。厚着で汗をかくと汗がひくときに熱を奪われかえって風邪をひきやすくなります。

ののかぜ広場、お疲れ様でした

天気も良く、気持ちのいい空気の中、ののかぜ広場が開催されたこと、本当にうれしく思っています。

昨年はコロナ対策として0・1歳児のつくし・たんぽぽと、2～5歳児のすみれ・そら・やまとの入れ替え制で行いましたが、今年度はまたもとに戻して0歳児から5歳児までの姿をみてもらうことができ良かったです。感想にも一緒に出来て良かったという声や、さくらの子どもたちの姿に涙腺が緩んだなどの感想等たくさん頂きました。また、2部の大人の競技も開催することができ、大人同士の交流も行うことが出来て良かったです。少しずつまたもとに戻って行けるといいなと思っています



遠足、いっぱい楽しんでできました お弁当づくりありがとうございました

ののかぜ広場に引き続き、10月26日もとても気持ちのいい天気のもと遠足に行ってきました。朝は寒かったものの出掛ける頃には風もなく日なたは暑いくらいで、0歳児つくし組からそら・やまの部屋の子どもたちまでそれぞれにお弁当を持って遊びに出かけました。



つくし組の子どもたちはメタセコイヤ広場へ遊びに行き、保育園に帰ってお弁当を友だちと一緒にテラスでおいしくいただきました。たんぽぽさんは、桜の園に出かけ、運動会でも登場した“みかんちゃん”と一緒に遊んだりしてきました。道中の乳母車の中では「〇〇ちゃんのお弁当～！」と嬉しそうに友だち同士でにぎやかに盛り上がっていました。遠足を楽しみに待っていたすみれ組さんたちは、朝から「お弁当持ってきたよ」担任たちに話しかけている姿が大きくなったな～感じさせてくれました。すみれの子たちは「♪どんぐりころちゃん。頭はとんがって、おしりはぺっちゃんこ♪」と歌いながら探検散歩を楽しみ、保育園前のはらっぱでお弁当タイム。「みてみて～！」とご機嫌にお母さん、お父さんの手作り弁当を見せながら食べていました。



そら、やまの子どもたちは、ちょっと遠回りの尾根道を通して里山へ探検散歩に。

到着したところは、田んぼや畑があり、小さな小川やちょっとした浅い池のあるところ。子どもたちはこの小川や池の周りで遊ぶのが大好きです。小川をせき止めたり、小川の中に置かれている石を渡って対岸に行ったり来たり（そのうちにドボンとなる子もいるけどへっちゃらです）と友だちと夢中になって遊んでいます。

そして、舌を巻くのは小川や池から素手でザリガニ（日本ザリガニ）やカエル、おたまじゃくしを捕まえること。今回も山の子どもたちはザリガニとカエルを捕まえ、持ち帰って、部屋で飼っています。千種区でこうした自然と触れ合える場があることに感謝です。

さて、こうして夢中になって遊んだ後は、楽しみなお弁当タイム。里山の家近くに異動して、手洗いをして、木陰でお弁当タイム。お母さん、お父さんに作ってもらったお弁当をとっても嬉しそうに友だちと一緒に楽しみながら食べていました。

忙しい中、子どもたちのこうした幸せ時間があるお弁当作り、ありがとうございました。